



悲惨な沖縄戦を伝えたくて

ひらかた平和フォーラムで宮沢和史さんが語る

◎添付資料:チラシ

市は「ひらかた平和フォーラム」を、令和8年2月17日(火)午後6時から市総合文化芸術センター本館 関西医大 小ホールで開催する。THE BOOM のボーカリストとしてデビューし、現在も精力的に音楽活動を展開している宮沢和史さんによる講演会「“島唄”に込めた想い」の他、市立小中学生による平和学習の発表も予定。無料。先着300人。1月14日から申し込み開始。市は3月1日を市独自の「平和の日」と定めており、毎年、この時期に様々な平和の日記念事業を実施している。

- ★今年の「ひらかた平和フォーラム」は、第1部で市立蹠蹠小学校合唱部による合唱と、市立藤阪小学校6年生による広島への修学旅行に向けた平和学習の様子を動画にて上映するとともに、小ホールホワイエでは、市立蹠蹠小学校児童により制作された平和学習ポスターや、市立東香里中学校の生徒により制作された平和新聞を展示する。
- ★第2部では、宮沢和史さんによる講演会「“島唄”に込めた想い～悲惨な沖縄戦を伝えたくて～」を開催。宮沢さんが「ひめゆり平和祈念資料館」との出会いをきっかけに制作、1992年に発表した代表曲「島唄」の演奏とともに、歌詞に描かれたサトウキビ畑での男女の出会いと別れの裏に込められた沖縄戦の悲惨さと平和への願いについて語る。
- ★1月14日(水)午前9時から市ホームページにある専用フォームで申し込み。先着300人に入場整理券(全席指定)を送付。インターネット環境のない方等は市人権政策課へ電話申込可。手話通訳・要約筆記・保育(生後6カ月以上の未就学児で先着5人)が必要な場合は、2月3日までに要申込。
- ★その他、枚方市平和の日記念事業の一環として、2月14日(土)～28日(土)に生涯学習交流センター展示スペース(枚方市駅東改札前ステーションヒル枚方5階)で、「禁野火薬庫パネル展」を実施。昭和14年の爆発当時の様子を記録した写真パネルを展示する。午前9時～午後9時。無料。
- ★枚方市は長年にわたり平和施策に力を入れている。昭和57年(1982年)に大阪府内で初めてとなる「非核平和都市」を宣言。全国の宣言自治体で構成する「日本非核宣言自治体協議会」(会長市:長崎市)の副会長市を務めている。8月に行われる広島と長崎の平和祈念式典にも毎年参加し、長崎では市民が折った千羽鶴を平和公園に奉納している。市立小学校では平和学習の一環として6年生の修学旅行で毎年、広島を訪問している。

★平成元年(1989年)には、3月1日を「枚方市平和の日」に制定した。昭和14年(1939年)の同日、当時枚方にあった旧陸軍施設の禁野(きんや)火薬庫が大爆発を起こし、死者94人・負傷者602人・家屋の全半壊821戸・被災4425世帯という大惨事となったことから、悲惨な歴史を戦争の記憶として後世に継承していくことを目的に爆発から50年を記念して独自に制定したもの。3月1日は昭和29年(1954年)に太平洋ビキニ環礁での水爆実験によって漁船の第五福竜丸が被爆した日でもあり、制定はこれにも因んでいる。

★枚方市では毎年、市民に平和について考えてもらうため、枚方市平和の日に合わせて、この時期に「ひらかた平和フォーラム」や、平和を祈るキャンドルイベント「平和の燈火(あかり)」を実施している。

＜お問い合わせ＞

市長公室 人権政策課 ☎072-841-1259、FAX072-841-1700

宮沢和史さん講演会

“島唄”に込めた想い

～悲惨な沖縄戦を伝えたくて～

宮沢和史さん

1989年にTHE BOOMのボーカリストとしてデビュー。

2014年THE BOOM解散後、しばらく充電期間を持ち、2018年より歌手活動を再開。

2022年は代表曲「島唄」を発表して30年・沖縄の日本復帰50年にあたり沖縄と日本本土で精力的に音楽活動を展開。

「島唄」はアルゼンチンの音楽賞を3部門受賞し、今なお広い地域で愛されている。現在、沖縄芸術大学で非常勤講師を務める。

2026年
2月17日(火)

午後6時～8時
(午後5時30分開場)

枚方市総合文化芸術センター
関西医大 小ホール

京阪枚方市駅下車 徒歩5分

※ 駐車場(有料)には限りがあります。
公共交通機関のご利用を。

無料

先着300人
要申込

第1部 (午後6時～6時30分) 平和学習の発表

枚方市の小学校では修学旅行で広島へ行き、平和への想いを学んでいます。今年は、蹠跣小の児童が合唱で、藤阪小の児童が動画で平和学習の取組発表をします。小ホールホワイエでは、東香里中の生徒が制作した平和新聞や、蹠跣小の児童が制作した平和学習ポスターを展示します。

第2部 (午後6時30分～8時) 宮沢和史さん講演・演奏

1992年に発表した代表曲「島唄」。この名曲の歌詞に描かれた、サトウキビ畑での男女の出会いと別れ。この歌詞の裏に込められた沖縄戦の悲惨さと平和への願いについてお話しいたします。

申込
問合せ

1月14日(水) 午前9時から右記コード・市ホームページにある専用フォームで申し込み。

インターネット環境がない方等は電話申し込み可。

手話通訳・要約筆記・保育(生後6カ月以上の未就学児で先着5人)は2月3日(火)までに要申し込み。

枚方市人権政策課 電話:072-841-1259 FAX:072-841-1700



申し込み専用フォーム